

# 看護倫理学

ナンバリング:N3-S1-C02

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

## ・学修方針(講義概要等)

看護ケアの原理の1つである人間の尊厳と権利の擁護は、実践の基盤となるものである。この理念の実現には看護者の高い倫理観が求められる。倫理観の形成には、生命倫理、医療倫理に関する理論や原則、看護実践に伴う倫理的概念やそれと矛盾する事態を洞察しなくてはならない。そのため学生が実習等で出会った倫理的問題を事例として、学生自らの問題として事態の性質を分析し、倫理的問題解決を探ることで、専門職としての主体的な行動能力と責任感について学ぶ。

## ・教育成果(アウトカム)

・「徳の倫理」「原則の倫理」「ケアの倫理」の視点で倫理的意思決定を学ぶ。  
 ・多様な意見や価値観を理解し、患者の権利や価値を尊重した倫理的意思決定ができるようになる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性を持ち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。

## ・到達目標(SBO)

1. 看護倫理学の基本概念を明確にし、看護倫理学を学ぶことの意義を学問的に論じることができる。
2. 看護倫理のアプローチである「徳の倫理」「原則の倫理」「ケアの倫理」の基本概念とそれぞれの理論的背景を整理し、倫理的意思決定にどのように貢献するかを説明することができる。
3. 文化的、個人的価値観の多様性に対する理解を深め、患者の権利と尊厳を尊重することができる。
4. 看護専門職として患者の人権擁護や人格の尊重に基づく基本的な態度を形成するために必要な倫理的概念を理解し、それらの具体的な適用方法を説明することができる。
5. 実際の看護現場で遭遇する倫理的問題に対し、論理的かつ批判的に問題解決策を提案できる。
6. 倫理的意思決定のプロセスを理解し、他者の価値観に触れることで自己の考えを拡大し、新たな視点を獲得することができる。

## ・授業日程

### 【講義】

会場：マルチメディア教室、大堀記念講堂

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/13 月 4限	<b>【授業内容】</b> 看護倫理学の概論 ・看護における倫理的判断の重要性と、判断に責任を持つことがなぜ必要かを説明できる。 <b>【関連するSBO】</b> 1 <b>【事前学修60分】</b> WebClassに提示された「レジュメ①」を読んで、そこに記された問いに答え、WebClassにて提出する。 <b>【事後学修：60分】</b> 授業中に提示される問いを記述し、WebClassにて提出する。	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
4/22 水 1限	<b>【授業内容】</b> 倫理的意思決定のプロセス ・徳の倫理の基本概念を学び、看護実践に必要な徳の具体例を挙げて説明できる。 <b>【関連するSBO】</b> 2, 3, 6 <b>【事前学修：60分】</b> WebClassに提示された「レジュメ②」を読んで、そこに記された問いに答え、WebClassにて提出する。 <b>【事後学修：60分】</b> 授業中に提示される問いを記述し、WebClassにて提出する。	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
5/7 木 3限	<b>【授業内容】</b> 倫理的意思決定のプロセス(ディスカッション) ・原則の倫理(自律尊重、善行、無危害、正義)の基本概念を学び、その特徴を説明できる。 <b>【関連するSBO】</b> 2, 3, 6 <b>【事前学修：60分】</b> WebClassに提示された「レジュメ③」を読んで、そこに記された問いに答え、WebClassにて提出する。 <b>【事後学修：60分】</b> 授業中に提示される問いを記述し、WebClassにて提出する。	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授

5/18 月 2限	<p>【授業内容】倫理的意思決定のプロセス(ディスカッション) ・ケアの倫理の基本概念を学び、看護実践における相互関係性の重要性が説明できる。 【関連するSBO】2, 3, 6 【事前学修:60分】WebClassに提示された「レジュメ④」を読んで、そこに記された問いに答え、WebClassにて提出する。 【事後学修:60分】授業中に提示される問いを記述し、WebClassにて提出する。</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
5/28 木 4限	<p>【授業内容】専門職の倫理 ・看護職の倫理綱領の意義を理解し、それを根拠として、人間の尊厳と権利を擁護する専門職としての看護師の判断と行動を説明できる。 【関連するSBO】3, 4 【事前学修:60分】WebClassに提示された「レジュメ⑤」を読んで、そこに記された問いに答え、WebClassにて提出する。 【事後学修:60分】授業中に提示される問いを記述し、WebClassにて提出する。</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
6/11 木 4限	<p>【授業内容】看護場面で遭遇する倫理的ジレンマと倫理カンファレンス① (ディスカッション) ・看護場面に潜む倫理的ジレンマを構造的に把握し、関係者の立場や価値観、問題点を整理して言語化できる。 【関連するSBO】2, 3, 4, 5, 6 【事前学修:60分】WebClassに提示された「レジュメ⑥」を読んで、そこに記された問いに答え、WebClassにて提出する。 【事後学修:60分】グループで同意した&lt;ケアの方向性(第一義的ケアの責任)&gt;について、 ・グループの合意と一致した点/違和感を覚えた点 ・自分が大切にしていると気づいた価値観 について振り返り、300字程度にまとめてWebClassにて提出する。</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師
6/15 月 1限	<p>【授業内容】看護場面で遭遇する倫理的ジレンマと倫理カンファレンス② (ディスカッション) ・倫理的ジレンマに対して複数の行動選択肢を比較検討し、根拠をもって最適と考える対応を導き出せる。 【関連するSBO】2, 3, 4, 5, 6 【事前学修:60分】授業事例に対する「step3の選択肢をできるだけ多く考え、記録用紙(授業中に配布)に記載、授業に持参する 【事後学修:120分】発表資料をグループで作成する</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師
6/29 月 1限	<p>【授業内容】倫理カンファレンスの成果発表と考察 ・倫理カンファレンスの検討過程と結論を論理的に発表し、他者の価値観との違いを踏まえて自身の倫理的判断を振り返ることができる。 【関連するSBO】2, 3, 4, 5, 6 【学修:17.5時間】授業全体を復習し、事後学修シートに追記する</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ 改訂第3版	小西恵美子	南江堂	2021

・成績評価方法

<p>【総括的評価】 1. 定期試験:筆記試験(記述と多肢選択)50% 2. 事前・事後学修シート(個人用)50%:初回授業時にルーブリック評価表を提示する。 【形成的評価】 各授業回に記載するワークシートにより理解度を確認し、フィードバックする。</p>								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1	1~4		30	30				60
2	5.6		20	20				40
合計		0	50	50	0	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他

<p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 WebClassに提出された課題(事前・事後学修)は、次回の講義時に検討、コメントを行う。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門分野 基礎看護学</p> <p>【その他】事前・事後学修は次授業前日正午までにWebClassに提出する(未提出は0点、時間を過ぎてからの提出は1/2減点)。 各回講義の中で、テーマに基づくグループワーク、ディスカッション等の機会を設け、またはICTの利用によるアンケートフォーム(Custom Form®)を通して、学生の理解度を確認しながら講義を進行する。</p> <p>【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有</p> <p>・精神看護専門看護師として「看護倫理の調整」経験を有し、看護倫理を主題とした研究を実施している教員が、専門領域に関する実践的な考え方を事例を交えながら行う。</p>
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	スマートフォンまたはタブレット	1	Webアンケート